

第21回 第4分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所第1分庁舎 7階研修室
日 時	平成18年4月22日(土) 午後1時35分～午後3時30分	記録者	【学生補助員】 洪、伊藤
		責任者	区事務局(田中)
会議出席者：28名 傍聴者1名 (区民委員：22名 学識委員：2名 区職員：4名)			
配布資料 第21回第4分科会 会議進行次第 班長会議まとめ 第2回編集部会まとめ 第3回編集部会まとめ 第1回最終提言ワーキンググループまとめ 提言までのスケジュール(予定) フォーマット例 第20回第4分科会議事録 提言に向けた要望意見			
進行内容			
1 開会			
2 本日の議事			
(1)班長会議報告(4月13日)			
(2)第3回編集部会の報告(4月14日)			
(3)最終提言ワーキンググループの報告(4月18日)			
(4)提言のまとめの検討			
<ul style="list-style-type: none"> ・中項目、小項目の整理 ・提言のフォーマット ・起草者 ・スケジュール 			
(5)日程確認			
3 連絡事項			
4 閉会			
会議内容			
【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員			
1 開会			
: それでは、定刻になりましたので第21回第4分科会を始めさせていただきます。まず、資料の確認をします。(省略)			
では、進行を小宮リーダーにお願いいたします。			
(小宮): 本日の進行を簡単にご説明します。まず、4月13日の班長会議の報告をします。次に、4月14日の第3回編集部会の内容をご紹介します。3つ目に最終提言ワーキンググループの報告があります。そして4つ目の「提言のまとめの検討」が本日の主要なテーマです。第4分科会の中テーマ及び小テーマの整理ですが、今日中に仕上げたいと思います。また、提言書を起草し、提出する期限が迫ってきていますので、各班からお一人ずつ起草者を出して、ご自分の班の内容を起草していただきたいと思います。			
それから、環境と美化班の田中さんから「大テーマについての要望意見」が出されていますの			

で、田中さんからご説明をよろしくお願ひいたします。

(田中): 要望内容はお配りした文書に書いてあるとおりですので、お読みいただければと思います。

(小宮): 各自ご覧いただいて、ご意見があれば後でお申し出ください。

2 本日の議題

(1) 班長会議報告

(小宮): それでは、班長会議の報告をします。4月13日に行われた班長会では、前回の分科会とその後各班でまとめた「小テーマと今後の取り組みの方向性」について、第4分科会としてまとめ編集部に提出しました。皆さんに書いていただいたものを班長会で多少修正しています。次回の班長会議ですが、この分科会の後、15時半から行います。

(2) 第3回編集部会報告

続きまして、4月14日の第3回編集部会の報告をいたします。

まず、提言書の書式ですが、3パターンを示して調整した結果、「40×35 12ポイント MSP 明朝体」で決まりました。次に、全体構成ですが、前は小テーマが分からないと中テーマを分類しにくいということで、今回、各分科会で小テーマを持ち寄り、共通するテーマをどうするかなどを話し合いました。

今後の進め方についてですが、大項目は従来のテーマだと訳が分からなくなるので、もう一度中テーマを整理した上で検討することになりました。従来のテーマは、あくまで仮題ということです。

4月27日の打ち合わせ会で、各分科会で共通する部分について調整をします。内容が重ならない部分はもらさず提案書に載せていく方針です。そのためにも、各分科会で事前に共通する部分について原稿をまとめなければなりません。その際、共通する部分だけの原稿を書いても第4分科会として全体が見えなくなってしまうので、各担当者が中項目単位の原稿を書いた上で、重なっている部分を調整していきたいと思います。調整後、最終的に5月8日までに原稿を起草し、それをまとめて編集部会委員に送付してもらいます。そして、5月14日の編集部会で区民会議全体としての調整を行います。

それでは次に、最終提言ワーキンググループの報告をお願いします。

(3) 最終提言ワーキンググループの報告

(植木): 4月18日に行われた最終提言のワーキンググループについて報告をします。ワーキンググループの仕事は6月25日のイベント当日に何を行うかを決めることです。

今回決定した内容ですが、場所は早稲田大学井深大ホールで行います。進行は2部制とし、第1部で提言書の内容を発表し、第2部で提言書を区長へ提出します。提言書の発表会は、4つの大項目ごとに20分ずつパワーポイントなどを利用して行います。発表者は項目ごとに1名で、編集部会にお願いすることになっています。ただ、編集部会からまだ返事をいただけていないので変更するかもしれません。第2部の内容ですが、15時から始まり、まず学識委員のご紹介があり、代表する学識委員の方にご挨拶していただく予定です。その次に区長への提言書の贈呈ですが、各分科会から1名代表者が出て、計6名が壇上に上がり、そのうち

の1名が区長に提言書を渡します。最後に区長からご挨拶をいただき閉会するという流れです。閉会後はすぐに解散して定刻までにホールを片付けることになっています。

役割分担ですが、私たちは6月5日号の広報原稿の作成を担当します。

5番目の「その他の意見」にあります、「提言の内容が施策に反映されているか評価するため区民会議終了後も組織を継続させたい」という趣旨を宣言書にして当日、読み上げたいという意見がありました。これに対し、ワーキンググループに出席している我々3名だけでは了解ができないので、各分科会の了解が必要ということになりました。ただ、我々がどういう趣旨で区民会議に召集されたのかを考えてください。去年の新宿区広報の4月5日号によると、我々は「公募により集まり、区長から1年間の委嘱を受けて、新しい基本構想・基本計画・都市マスタープランに盛り込むべき内容について検討し、区長に提言する。区長はその提言を最大限尊重し、施策に反映する。」ということが書かれています。こういう趣旨で集まったのに、その後を監視していくというのは趣旨に反すると思います。こういうことを踏まえた上で皆さんにお諮りしたいのですが、よろしいでしょうか。それでは、宣言をするべきだという方は、手を挙げていただけますか。

：その前に、区民会議を継続させるというのは、今のこの形で継続させるということでしょうか。

(植木)：そういう趣旨の内容を宣言書で読み上げたいということです。

：370名の区民委員の中から有志が集まって決起するという意味ですか。

(植木)：そういうことではなく、区民会議として宣言をしたいということです。個人的には、区民会議を継続させて、提言が施策に反映しているかについて監視をするということは、今回の区民会議の趣旨とは違っていると思います。区民会議終了後に有志で集まって、そういう会を作っていたら分かりますが。

：提言の内容が施策に反映されているかを監視するというのは、やはり趣旨が違っていると思います。このままの形で継続するというのも大変ですし、違う形で集まるならばよいと思いますので、あえて提言の中に組み込まなくてもよいと思います。

：第6分科会でそのような内容を提言に盛り込むということになっていますが、まだ、予定ということです。ただ、全員が参加する形を維持するというのはとても大変だと思います。

：私個人としては、一応その点については反対しますが、もっと軽い形で作りたと思っています。あえて宣言に盛り込まず、提言に付け加える形がよいと思います。

：区長に提言書を贈呈する際に口頭で、「区民会議を機会に区政に興味を持つようになったので、これからも何らかの形でご支援いただけないでしょうか」という趣旨を申し上げる程度がよいと思います。そうであれば、区も検討していただけるのではないのでしょうか。

：宣言をするというのはどこかの分科会から提案されたのですか。

(植木)：ワーキンググループに出席されている委員の方々の意見です。

：私の理解では、ワーキンググループは6月25日当日のプログラムを整理するのが仕事であって、コンテンツに関わることは世話人の方々と話し合うべき内容だと思います。この件に関しては世話人会では話し合われていないですね。

(小宮)：まったく話し合われていません。ワーキンググループで出た話だと聞いています。せっかく作った提言ですので、しっかり施策に反映して欲しいという気持ちはわかりますが、今回の区民会議の趣旨を踏まえると簡単に決められる議題でもないで、もう少し全体の中

で議論した方がよいと思います。

(植木): それでは、今回の件に関しては、編集部会にお任せするという形でよろしいでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。

(拍手)

(植木): それでは、そのような形で進めさせていただきたいと思います。

: 今、私が申し上げたのは区民会議の仕組みができ上がっているのです、その仕組みに沿って話し合われた方が皆さんの総意が汲み取りやすいということです。また、作ったものを評価することがよいか悪いのかは簡単には判断できませんが、多くの他自治体等の市民会議では議論をして提言書を作ることに加えて、審議会の出した施策案に市民の意見がどう反映されているかを主体的にチェックすることも最近は行われるようになってきています。ただ、今回のケースは設立の趣旨と違ってきてしまいますので、区民会議のメンバーの中で議論し、継続するのか別の組織を作るのかを議論する方がよいと思います。審議会の方に我々の気持ちを汲み取ってしっかり反映するようお願いをし、反映されなかった場合は「なぜか」ということを伺った方がよいとは思いますが、それをどういう体制でやるのかということは世話人の方々により議論し、その結果を皆さんに伝達するという形が望ましいと思います。また、やるということであれば、自分たちの手弁当でやらなければならないので、しっかり覚悟を決めなければならないと思います。手順をきちんと踏んだ方が皆さんの意見を汲み取りやすいと思います。

: ありがとうございます。17年4月5日号の区報を見ていただければ我々がそこでしっかりチェックできるということも分かります。

: 「提言書の4つの大項目ごとに発表を行う」という部分ですが、前回の分科会で話した時は、その4項目というのは決定ではないということでしたが、ここには決定のように書いてあります。4つの大項目というのはこれから検討すべきことですよね。

(小宮): 決定ではありません。

(4) 提言のまとめの検討

(小宮): それでは、提言のまとめの検討に進みたいと思います。4つの大テーマのうち「土地の記憶の再生と創造(仮題)」の中に、中テーマ1「みどりと水、太陽の豊かなまち」、中テーマ2「人間本位の生活環境に配慮したまち」、中テーマ3「地域から地球環境を改善する町」が入り、大テーマ「われら新宿(仮題)」の中に中テーマ4「環境教育を推進するまち」が入っています。編集部会で整理をする際に、ECO-ECOの内容を中テーマとして出すと収まりが悪くなるので、中テーマ3の中に入れました。またヒートアイランドもみどりのテーマの中でやるのか迷いましたが、中テーマ3の中に入れました。A3資料の裏面から、「将来あるべき姿」「現状と仮題」「小テーマ」「今後の取組みの方向性」に分けて書いてありますが、これは前回の班長会議で最終確認した内容です。まだ変更があってもよいと思いますが、位置づけとしては第4分科会の整理ということでまとめてあります。また、中テーマ一つに対して「将来あるべき姿」と「現状と課題」をまとめ、小テーマに対して「今後の取組みの方向性」をまとめていくことになっています。「将来あるべき姿」と「現状と課題」は、もう少し詳しく整理して書いた方がよいと思います。それを踏まえた上で中テーマを柱にして起草していきます。

次に、先ほどお配りした第3回編集部会まとめに編集部会の案ということで、第1分科会から第6分科会の中テーマ、小テーマをまとめたものがあります。資料1枚目の裏に「編集部会案(4/14時点)中項目のグループ化」があり、大テーマ1「土地の記憶の再生と創造」、大テーマ2「くらしを守り、いのちを育てる」、大テーマ3「楽しもう新宿」、大テーマ4「われらの新宿」があります。前回まで第4分科会は「みどりと水、太陽・・・」、「人間本位の・・・」、「地域から地球環境を・・・」を大テーマ2に入れていましたが、各小テーマを見ながら整理したところ、大テーマ2の「くらし」というのは人間のくらしというイメージになるため、これら大テーマ1に分類しました。「環境教育を推進するまち」は大テーマ4に分類してあります。また、大テーマ1内の第4分科会中テーマの「みどりと水、太陽の豊かなまち」と第3分科会中テーマの「水とみどりの環」は内容が類似しているため合体が必要か相談することになっています。起草する際に第3分科会の小テーマを見て、第4分科会の意図が伝わるように書きたいと思います。

：「水とみどり」というのは最初から第4分科会のテーマではないのでしょうか。

(小宮)：第3分科会の中テーマ「水とみどりの環」ですが、第3分科会はまちづくりに関する分科会です。しかし、小テーマを見ると「失われつつある水辺の再生」など私たちが言っていることと近くなっています。同じような内容を検討している部分があれば一つにまとめた方が読む人が分かりやすくなります。削除するというのではなく、まとめて起草することです。

：今まで私たちが一生懸命やってきたテーマではないですか。

：1年間何をやってきたのか分からない。この班で一生懸命やってきたことが無駄になります。

：第3分科会から内容をもらい、第4分科会でまとめるべきではないでしょうか。

(小宮)：そのような考えもあるので、第3分科会と相談するわけです。

：無駄になるということではなく、同じ内容について調整しましょうということですよ。

(小宮)：私たちがやってきたテーマはどこに収まろうと一番わかりやすく提言書に入れるようにしていきます。

それと話は戻りますが、資料1枚目裏に書いてある「地域から地球環境を改善するまち」と「Eco-Ecoに取り組むまち」は合体することに決まりました。次に提言書のフォーマットについてですが、40桁×35行12ポイントMSP明朝の書式で、中テーマごとに【将来あるべき姿】と【現状と課題】を書きます。一つの中テーマに対して【将来あるべき姿】と【現状と課題】を含めて2ページです。地図等がある場合は別途A3でテーマごとに1枚程度、表、絵などで分量があるものはテーマごとに整理し別途1枚程度とします。【取組みの方向性】では小テーマを設けてそれに対してこうだったらよいということを書いていきます。いつ、誰が、何を、何故、どのように、つまり5W1Hで書き、テーマごとに8~10行以内でうまくまとめて下さい。第4分科会のまとめをこのフォーマットに合わせて、各班で起草者を決めていただいて27日の午前中までにまとめて下さい。最終的には事務局を通して、8日に原稿を編集部会の委員に提出します。

スケジュールについてですが、次の分科会は5月12日に行われますが、ここでこの草案を皆で確認します。その後、5月14日の編集部会で全体の調整をします。5月27日の第23回分科会で原稿の最終確認をして、5月30日予定の編集部会で全体の最終調整を行います。6月9日に提言書の印刷を発注して6月25日に区長に提言書を提出することになります。

ご質問等あればよろしく申し上げます。

- : 大テーマ「土地の再生と創造」のところに「地域から地球環境を改善するまち」ということで温暖化班が入っているのですが、温暖化班が考えたことというのは、「土地の再生と創造」というよりも「暮らしを守り、いのちを育てる」の方がふさわしいと思います。
- : 資料の「分科会ごとテーマ」ですが、第1分科会は4つの大テーマに中項目が組み込まれているからか、大テーマがありません。第2、第3、第4分科会は大テーマがそれぞれありますが、提案されている4つの大テーマとどのように調整していくのかをお聞きしたい。この4つのテーマで決定ではないので、分科会から出た意見を大テーマとして取り上げることもできると考えますが、どうでしょうか。
- (小宮): 大テーマは元々各分科会にあったのですが、全体でまとめるため分科会ごとの大テーマはありません。
- : 第2分科会では「高齢や障害になっても豊かに暮らせる社会」というのが大テーマとして出ていますが。
- (小宮): この時点ではこうだったということです。
- : 補足させていただきますが、分科会ごとに持ち寄った時点での大テーマがこうだったということです。第1分科会が持ち寄ったものには大テーマがないのですが、他の分科会には大テーマが入っています。ただ、6つの分科会でグループ化して大テーマを決めますので、各分科会の大テーマをそのまま使うことはできないと思います。大テーマの名称については、次の編集委員会で調整する予定です。
- : この「土地の再生と創造」という仮題を聞いて、一般の方に意味が理解できますか。分科会の方々が分かって一般の方にも分かるよう変更したほうがよいと思います。そうしないと本当の意味での新宿をよくすることはできません。
- : 私初めのテーマがよくわからないのですが、4つのテーマに分けて、1番は環境や街の問題、2番目は人間の問題、3番目が産業に関する問題、4番目が協働や参画といったテーマだろうと思います。先ほど温暖化班が2番目に入れたほうがよいと言いましたが、温暖化班がどこを主張したいのかによって入る箇所が決まるのではないのでしょうか。私は1番に入れてもよいと思うのですが。
- : 第4分科会では1つの大テーマしか出していないですが、他の分科会ではいくつも出ています。
- : 大テーマと大項目とは同じことですが、大テーマに関しては改めて名称を決めますので、あまりこだわらなくてよいと思います。小テーマや中テーマは各分科会でお書きになったものが採用されますので、ご理解ください。第3分科会発案の大テーマは分類する上での便宜的なものです。「土地の再生と創造」というのは、意味がよく分からない部分もあるのですが、環境、景観、文化など非常に幅広いものを含めたイメージかと思います。「暮らしを守り、いのちを育てる」というのは福祉、身の安全、住宅環境など身近な生活についてのイメージです。「楽しもう新宿」は未来を前向きに捉えるイメージもあります。「われらの新宿」というのは今後の新宿をどうしていこうか、協働・参画というイメージだと思います。もちろんこの分類は、各分科会からの意見により今後変わる可能性もあります。
- : 第1から第6までテーマごとに分科会が分かれ、分科会ごとに各テーマについて検討しているので、これらを4つの大テーマに集約するのは無理があると思います。各分科会で2、3個の大

テーマを作って、その下に中テーマ、小テーマを作って進めた方がよいと思います。4つの大テーマに絞ると言っても、検討内容が違うので無理があると思いますので、できれば再検討をお願いします。

(小宮): 貴重なご意見をありがとうございます。ただ、編集部会で4つの大テーマにすることを決めましたが、これは提言のまとめ方は編集部会に任せるという前提のもと、編集部会で話し合っただけですので、ご理解いただきたいと思います。

: 私が言いたいのは全てをお願いするのではなく、編集部会に提案をすれば各分科会にその提案が下がって来るだろうから、そこで皆さんに異存がなければそれでよいということです。異存があれば直してもらおうというスタイルで進めないとうまくいかないと思います。

(小宮): それは分かりますが、テーマ別にまとめるという方針は既に決まったことですので、それを議論することは現時点では難しいと思います。

最初の編集部会で、とりあえず第3分科会の案をたたき台に分類してみようということになりました。確かに、どの大テーマに入れたらよいのか難しいとは思いますが。例えば、介護というテーマで括ったとしたら限定されてしまいます。第4分科会も環境というテーマにすれば一番楽です。しかし、基本構想審議会での審議に向けてもっとふさわしい位置づけがあるということから、テーマ別にまとめることになりました。早稲田大学の卯月先生には、各分科会で提案した中テーマと小テーマを基に新しい大テーマを考えて下さいとお願いしていますので、大テーマについては心配しなくても大丈夫です。

: 分からない訳ではないのですが、例えば「土地の記憶の再生と創造」という大テーマの中で、どのように原稿を書けばいいのか。その意図することを分からないまま書くというのはよくないと思います。だから仮にこれを大テーマとするのであれば、環境サイドからこのテーマはこういうことだということを教えてもらわないと分かりません。このテーマに決まったからこれでいくというのは無理があると思います。

(小宮): 最初にこの4つのテーマがあってそれに従って検討するというのではなくて、皆さんがまとめた小テーマをグルーピングした結果が大テーマになるわけです。また、分科会ごとに大テーマとして方がよいという意見ですが、分科会ごとに重なっているところはかなりあるので、グルーピングに沿ってぴったりとあった名前を付ければよいと思います。ここまで来て逆戻りというのは時間的に厳しいので、この方向性で上手く進めていったらどうでしょうか。

: 大方の人がそれでよいなら結構です。

: 中間発表会でのディスカッションの時に、各分科会で似ている箇所がいくつもあったのでまとめた方がよいという意見があり、今回4つの大テーマに分けた訳ですが、名称は今後も考えるということですので、それはよいと思います。どのようにまとめようとも、私たちが言おうとしているのは中項目以降であるので、その中に私たちの思いを詰め込んで提出すればよいと思います。

: 皆さんの意見は素晴らしいですね。段取りがしっかりしているのが外れているとは思いません。卯月先生がよいテーマ名を出して下さることを期待したいと思いますが、正直申し上げて、今のテーマではだめだと思います。何を言っているのかが全然分からないのです。ただ、大事なことは、第3分科会が自発的に案を出したということです。意見を言うのであれば我々がしっかりとしないとダメです。編集部会で出た「たたき台」で進めていくと決まったのであれば、中項目以下には我々の意見が相当入っているの、これをきちっと盛り込むことが大事だと思

います。初めて提言書を見る人は中テーマを見るので、そのときに足元をすくわれないようにきちっと根拠を書いておかないといけない。ですから、皆さんのご意見は段取りを踏めばかみ合うと思いますので、この形でまとめればよいのではないかと思います。

(小宮): 大テーマの具体案があれば編集部会で発言しますので、ご提案をよろしくお願いします。それでは、大テーマに関しては以上にしたいと思います。

次に、いよいよ起草しなくてはならないのですが、まずは班ごとに起草者を決めていただき、27日の午前中までには原稿を書いていただき、調整後、5月8日には編集部会の委員に出すことになっています。先生方にも我々の書いた提言書をチェックしていただきたいと思います。では、今回の起草は班長を中心に決めていきたいと思うのですが、何か質問があればよろしくお願いします。

: 起草は班長が書くのでしょうか。

(小宮): 班長さん以外に文章を書くのが得意な人がいればとその人でもよいと思いますし、誰が書くかは各班で考えていただきたいと思います。

: 先ほど、中項目での重複について調整するという話がありましたが、小項目での重複の調整はできるのですか。

(小宮): 実は第3回編集部会で決まったのですが、この小項目、中項目を見てもすぐには重複が分からないと思います。私の方でまとめてはいるのですが、時間がないので、この後の班長会議で整理したものをお見せしたいと思います。

それでは3時半まで、班別に討議をよろしくお願いします。

(班別討議)

(5) 日程確認

(小宮): 最後に日程確認ですが、次回(22回)の分科会は5月12日18時半から20時半、23回が5月27日です。また、今日この後、班長会議がありますので、班長の方、また班長以外の方でも参加できる方はお願いします。

その他、第2回ワーキンググループが4月28日、第4回編集部会が5月14日にあります。

3 連絡事項 なし

4 閉会

それでは、今日はこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

以上